

企業・団体献血

ご検討資料



皆さまの力が、いのちをつなぐ。

献血バスの派遣・運営費は無料。ご用意は、スペースと所内周知、事前募集などでの確保協力です。

この1冊で、所内のご案内・提案・説明・周知まで揃います。

— 目次 —

- 01 企業・団体献血のご案内（必要性・4つのメリット）
- 02 開催形式・当日の流れ・ご準備いただくもの
- 03 就業中の献血 よくあるご質問（所内説明用）
- 04 所内稟議・提案のポイント／所内周知 文例集

大阪府赤十字血液センター 事業推進一部 献血推進課 TEL 06-6962-7654（平日 9:00～17:30）

01 企業・団体献血のご案内

輸血用血液は長期保存ができず、毎日一定量を確保し続けなければ患者さんの治療に支障をきたす恐れがあります。大阪府内では、**1日に1,100人以上**の方の献血が必要です。まとまってご協力いただける企業・団体献血は、地域のいのちを支える大きな力になります。

なぜ、いま企業・団体献血が必要なのでしょう

毎日安定した血液の確保が必要となる中で、平日は多くの方が仕事であるため、街頭会場（駅前や商業施設）でのご献血協力がいただきにくい状況です。

平日でも輸血を待つ患者さんのもとへ安定して血液をお届けするために、皆さまの職場へ献血バスがお伺いする、「**企業・団体献血**」が必要です。

企業・団体献血の4つのメリット

1

CSR・ESG 活動の実績になります

献血の実施は **SDGs 目標3** に関わる社会貢献活動です。
CSR 報告書・サステナビリティ報告書・採用ページなどに、**自社の取り組みとして対外発信**していただけます。



2

従業員の健康意識が高まります

献血にご協力いただいた方には、**7項目の生化学検査成績および8項目の血球計数検査成績**を「ラブラッド」アプリでお知らせします。ご希望の方には特定の感染症検査の結果を、親展にてご通知します。（異常が認められた場合のみ）



3

準備はほぼゼロ。運営は赤十字が行います

献血バス・医療スタッフおよび事務スタッフ・備品は、**すべて当センターが手配**します。
皆さまにお手伝いいただくのは、**駐車スペース確保と職場での周知のみ**です。



4

表彰・献血サポーターマークの取得

一定の基準を満たすと、**国・大阪府・日本赤十字社からの表彰対象**に。
「献血サポーター」登録で専用ロゴマークを取得でき、広報・採用ツールに活用できます。



02 開催形式・当日の流れ・ご準備いただくもの

開催形式は、皆さまに合わせて選べます

① 献血バス（1日）	参加目安 60～80 人。職場駐車場などの敷地内に献血バスを配車します。
② 献血バス（半日）	参加目安 30～40 人。業務への影響を抑えて実施できます。
③ オープン献血	駐車場が確保できない場合、会議室や近隣会館などのスペースを利用。 電気・トイレ使用時の水道等をお借りします。
④ 団体コード献血	お勤めの皆さまが個別に献血ルームへ。 地域エリア担当より団体コード番号をご連絡します。
⑤ 合同開催	近隣企業やグループ会社と合同で実施し、必要人数の協力をお願いします。
⑥ 献血セミナー	10～60 分。献血の仕組みや必要性を従業員向けにご説明します。
⑦ 試供品提供	「バスは呼べないが協力したい」企業・団体様向け。 ノベルティ・試供品を献血者への記念品としてご提供いただけます。

※ 参加目安人数は 400mL 献血にご協力いただける方の人数です。現代の輸血医療で必要とされる血液の 95%以上が 400mL 献血からの血液です。

当日の流れ（献血バスの場合）



09:00～09:30	設営	当センターのスタッフが到着・設営します。
10:00	受付開始	お勤めの皆さまの受付・問診・採血を開始します。
12:00	ピーク	昼休みは混み合うため、時間を分けてのご案内が安心です。
16:30	受付終了	最終受付。以降は順次対応します。
17:00～17:30	撤収完了	撤収し、終了。後日「献血結果報告書」をお渡しします。

当日は医療スタッフおよび事務スタッフ 合計約 6～8 名でお伺いします。「献血結果報告書」には、受付数、献血協力者数を記載します。

ご準備いただくもの／当センターが準備するもの

皆さまにご用意いただくもの

- 実施スペース（バス：駐車 12m×6m／屋内：ベッド 3～4 台＋受付・休憩スペース）
- 電源（屋内会場・気象条件等で使用する場合）

職場周知（ラブラッド予約案内・参加呼びかけ）

当センターが準備するもの

- 献血バス（全長 10m・幅 2.5m、テント張り出し時 5m）／採血機材
- 医療スタッフおよび事務スタッフ（約 6～8 名）
- 備品・運営・設営～撤収・献血結果報告書

※ 派遣・運営費は無料です。屋内会場の電源・水道等の実費は皆さまにご負担いただく場合があります。

03 就業中の献血 よくあるご質問

職場内で「従業員が就業時間中に献血へ参加すること」をご説明・ご検討いただく際に、よく挙がる疑問にお答えします。

Q 企業・団体に費用はかかりますか？

A **派遣・運営費はかかりません。** 献血バスの派遣・医療スタッフおよび事務スタッフ・備品まで、当センターが負担します。後から請求することはありません。
(屋内会場の電源・水道等の実費は皆さまにご負担いただく場合があります)

Q 献血にはどのくらい時間がかかりますか？

A 受付・問診（約 10 分）→ 血圧・血液検査（約 5 分）→ 採血（全血 10～15 分／成分 40～60 分）→ 休憩（約 15 分）の流れです。**全血献血であれば約 40 分程度**で完了します。

Q 持病や服薬中などの従業員は献血できませんか？

A 献血バス到着後、受付で問診を行い、その場で健診医師が判断します。
献血できなかった場合の不利益は一切なく、企業・団体側が責任を問われることもありません。

Q	採血後に従業員が体調不良になった場合、企業・団体側は責任を負いますか？
A	企業・団体側に法的責任は生じません。 万が一、献血により健康被害が生じた場合で、医療機関の受診を伴う副作用については、公的な「献血者健康被害救済制度」により医療費・医療手当などが支給されます。 安全管理は医師・看護師を含む体制で当センターが責任を負います。
Q	従業員の血液検査結果は職場に届きますか？
A	職場には届きません。 検査結果はご本人のラブラッドアプリでご確認いただけます。 皆さまの職場内で個人の健康情報を管理・保有することはありません。
Q	実施後に何か報告書などはもらえますか？
A	当日終了後または後日、献血結果報告書を提出させていただきます。 献血結果報告書には受付数、献血協力者数を記載します。

04 所内稟議・提案のポイント／所内周知 文例集

所内稟議・提案のポイント

1	目的	地域医療を支える社会貢献（CSR・ESG の S）。 SDGs 目標 3 に該当し、自社の取り組みとして对外発信できます。
2	費用	献血バスの派遣・運営費は無料。医療/事務スタッフ・備品はセンター負担です。 （屋内会場の電源・水道等の実費のみ皆さまにご負担いただく場合あり）
3	負担	担当者の実作業は合計 30 分程度（申込・日程調整・所内周知）。当日の設営～撤収はセンターが対応。駐車スペース（場所）の事前確保もお願いします。
4	リスク	参加は任意。万一の健康被害は公的な「献血者健康被害救済制度」で対応され、企業・団体側に法的責任は生じません。検査結果は本人のみに通知されます。
5	効果	社会貢献の実績、社員の健康意識向上、表彰・献血サポーターマークの取得。

所内周知 文例集

■ 掲示・自所内メール（告知用）

件名：【ご協力のお願い】職場内献血の実施について

このたび、大阪府赤十字血液センターのご協力により、職場内で献血を実施します。
輸血を必要とする患者さんのため、皆さまのご協力をお願いいたします。

- ・日時：〇月〇日（〇）10:00～16:30（受付）
- ・場所：〇〇（駐車場／会議室 等）
- ・予約：ラブラッドアプリより事前予約にご協力ください
- ・体調のすぐれない方はご無理なさらないでください。

■ 当日リマインダー（前日～当日）

件名：【明日実施】職場内献血のご案内

明日〇月〇日、職場内で献血を実施します。
ご協力いただける方は、水分を多めにとり、朝食をとってからお越しください。
受付時に本人確認書類をご持参ください。当日参加も歓迎します。

■ 実施後のお礼・報告（所内向け）

先日の献血では、〇名の方にご協力いただきました。ありがとうございました。
皆さまの善意は、地域の医療を支える大きな力となります。
（受付数・献血協力者数は「献血結果報告書」のとおりです）



ご検討のほど、よろしくお願いいたします。

お申込み・ご相談は、お気軽にご連絡ください。

大阪府赤十字血液センター 事業推進一部 献血推進課

TEL 06-6962-7654 （平日 9:00～17:30）